

【 国立公園満喫プロジェクトについて 】 村田光成 (R4.6.21)

(二) 国立公園満喫プロジェクトについて

次に、国立公園満喫プロジェクトについて伺います。

国では、2016年に策定した『明日の日本を支える観光ビジョン』において、日本の国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化を図ることを重要な取組の柱として掲げ、同年、環境省が『国立公園満喫プロジェクト』を全国8カ所の国立公園で立ち上げたところであります。

満喫プロジェクトでは、訪日外国人を惹きつけるための取組を計画的・集中的に実施することで、2020年までにそれまでの2倍以上の1,000万人に増やすことが目標とされ、受け入れ環境整備や情報発信などの様々な取組が推進されてきたところです。

道内の国立公園においては、阿寒摩周国立公園が選定されてほか、支笏洞爺国立公園の支笏湖・定山溪地区でも先行8公園に準じた地域として選定され、関係機関で連携した取組が進められてきたと承知しております。

しかしながら、2019年末から感染が拡大した新型コロナウイルスの影響で、訪日外国人はもとより国内の旅行需要も大きく落ち込んでいるところであり、『GoToトラベルキャンペーン』などによる国内観光需要喚起などにより、徐々に国内旅行者は持ち直しつつあり、ちょうど先週から、訪日外国人観光客の受け

入れも再開されたところであり、国内旅行者も含め、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた対応が必要となると考えますが、道として、満喫プロジェクトにどのように取組んでいく考えなのか、伺います。

(答弁：鈴木知事)

- ・国では、コロナ禍の影響による旅行者の減少やポストコロナを見据えた新たな旅行形態に対応するため、プロジェクトの計画期間を2025年度まで延長。
- ・阿寒摩周国立公園に関する取組方針では、再エネ活用などの脱炭素化に加え、広域的な周遊観光の推進などが重点的な取組の目標。
- ・道としては、豊かな自然環境を新たなライフスタイルにも活用していただけるよう、国などと連携し、受け入れ環境の整備や多言語による魅力発信などを通じプロジェクトを推進し、持続的な地域の活性化に繋げてまいります。